

愛知県・豊川市総合防災訓練に参加しました

2022年12月17日（土）、市内の陸上自衛隊豊川駐屯地訓練場で開催された「令和4年度愛知県・豊川市総合防災訓練」に、当院からDMAT隊員及びサポートスタッフが参加しました。訓練は南海トラフ巨大地震が発生した想定で行われ、当院を始めとして愛知県警など77機関から約2,000人が参加しました。緊急地震速報に合わせ、参加者が姿勢を低くして身を守るシェイクアウトから始まり、ドローンによる被害状況の確認、土砂崩れにより生き埋めになった人や横転した車に取り残された人の救出訓練や消火活動等、多岐に渡る訓練が実施されました。

当院のDMAT隊は、ドクターカーと搬送車に分乗して現場に開設された医療救護所に出向き、搬送される負傷者に対する応急救護活動を実施しました。災害現場でのトリアージにより最優先治療群（重症群）とされた識別色が赤色の患者に対して、命を救うための処置等を迅速に実施しました。また、医療救護活動本部との連絡・調整により、応急救護を終えた重症患者を豊川市民病院等の病院に搬送するシミュレーション訓練を実施しました。

有事の際、当院の役割は愛知県東三河南部・北部医療圏の災害拠点病院として、災害医療を提供する病院への支援と搬送される被災患者に対する災害医療の提供が主となりますが、災害急性期（48時間以内）においては、当院からDMAT隊が被災現場に出向いて応急救護活動等を行うことも予想されます。そのようなことから、今後もこのような訓練や各種研修に積極的に参加し、災害対応能力の向上に努めていきます。



